

令和5年

目黒区教育委員会

第22回定例会会議録

(令和5年7月11日開催)

第22回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年7月11日

開催場所 教育委員会室

| | | |
|------|---------------|-------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長 | 関根義孝 |
| | 教育委員会教育長職務代行者 | 松村真理子 |
| | 教育委員会委員 | 川嶋春奈 |
| | 教育委員会委員 | 片山 覚 |
| | 教育委員会委員 | 若井田正文 |

| | | |
|------|----------|-------|
| 出席職員 | 教育次長 | 樫本達司 |
| | 教育政策課長 | 濱下正樹 |
| | 学校統合推進課長 | 西原昌典 |
| | 学校運営課長 | 関 真徳 |
| | 学校ICT課長 | 藤原康宏 |
| | 学校施設計画課長 | 岡 英雄 |
| | 教育指導課長 | 寺尾千英 |
| | 教育支援課長 | 山内 孝 |
| | 統括指導主事 | 鈴木将大 |
| | 統括指導主事 | 石邑由紀子 |
| | 生涯学習課長 | 斎藤洋介 |
| | 八雲中央図書館長 | 伊藤信之 |

| | | |
|----|--|------|
| 書記 | | 小見哲一 |
| | | 矢吹翔太 |

(議事日程)

| | | |
|------|--------|-----------------------------|
| 日程第1 | 協議事項 | 令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について |
| 日程第2 | 議案第28号 | 目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について |
| 日程第3 | 議案第29号 | 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について |
| 日程第4 | 報告事項 | ランランひろばの拡充による臨時的な対応について |
| 日程第5 | 報告事項 | 学校施設の使用見直しの方向性について(案) |
| 日程第6 | 報告事項 | 目黒区古民家の臨時休館について |
| 日程第7 | 報告事項 | 令和5年度学級閉鎖等の状況(7月10日現在) |

(午前9時30分開会)

○教育長 令和5年第22回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は川嶋委員です。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することとします。

なお、以後傍聴の申請があった場合には、22人までその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはありません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
(協議事項))

○教育指導課長 (資料により説明)

○教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、今回採択するのは、令和6年度から目黒区立小学校で使用する教科用図書です。

委員の皆様には、既に事務局から、教科書の見本本、「調査研究委員会報告書」、「学校調査報告書」が届けられ、一通りご覧になっていることと思います。

本日は、この報告書などを参考に、実際に教科書を手にしながから、協議を進めてまいりたいと思います。

協議の進め方ですが、本日から4回にわけて協議を進めてまいりたいと思います。まず、本日7月11日の1回目から7月25日の3回目までは、各回4種目から5種目の教科書について協議し、発行者数が多い種目については、一定程度の絞り込みを行いたいと思います。

8月1日の4回目の協議では、全種目について協議し、ここで各種目の候補を1社に絞りたいと思います。

その上で、8月8日には採択の議決を行う予定で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

それでは、そのようなペースで進んでまいりたいと思います。
なお、議論の際に呼ぶ各教科書の発行者名は、お手元の資料2、
発行者一覧に記載の「協議用記号」で呼ぶことといたしますので、
宜しくお願いします。

○教育長 本日は、「国語」、「書写」、「生活」、「音楽」、及び「図
画工作」について協議します。委員の皆様には、実際に教科用図
書を見た上で感じられたことや、教科用図書を選定していく上
での視点など、ご意見をいただきながら、採択候補とする教科用
図書2社から3社をあげていただきたいと思います。

○教育長 「国語」から協議を始めます。「国語」は3社ありますので、
この中から本日は2社をあげていただきたいと思います。

○委員 3社とも、小学校の国語の教科書として十分な水準を満たし
ているものと感じていますが、私は、1番目がF社、2番目はG
社と考えています。

F社ですが、内容は非常にオーソドックスであり、全体的な統
一感もあって安定した印象を受けたこと、文字や写真、イラスト
とのバランスも適当で見やすいといったこと等が決め手となり
ました。特に、5年生の教科書で点字を取り上げていますが、他
社と比較すると、一番網羅的で、大きく紙面を割いていること、
また、漢字の一覧表が見やすいということも好印象でした。

H社は、俳優の起用や漫画の形式等が現代的なものであり、児
童の関心を引くという意味では魅力的なコンテンツだと思いま
すが、長く使用するという意味では、もう少し一般的な写真やイ
ラストを用いたほうが良いのではないかと思いました。

G社は、5年生で取り扱った「みずさきがしの旅」を個人的に
は興味を持って読ませていただきました。ただ、様々な物語につ
いては、教科書で取り上げなくても、副読本等で補えるのではな
いかと感じました。

○委員 今回私は、子どもが教科書を手にしてページを開いたときに、
わくわくするような気持ちになるものであること、目黒区の先
生が好きと思える教科書であること、保護者も学びや魅力を得

られるものであることといった視点で教科書を読んでいました。また、どの教科書にも記載のある二次元コードについては、その量や掲載されているタイミング、その内容等も気を付けながら見ていきました。

これらを踏まえ、良いと感じた出版社順に感想を述べていきます。

まず、F社です。表紙も背表紙も美しく、教科書ごとに風車、友達、タンポポ等の名前がついている点も良くて、ページをめくっていても、それに関連したものが載っているということが非常に良いと思いました。

二次元コードについては、どの学年も、最初のページに、この印があるところには様々な資料があるので読み取るときには、必ず先生やご家庭の方と一緒に読むよう説明が記載されているのが良かったです。また、二次元コード自体が、それほど多くないのも良いと思いました。

また、6年生の教科書に、作家のインタビューとして動画が出ていますが、その話し方や内容等が6年生にふさわしいというか、興味が湧くような、非常に良い動画だと思いました。

次に、H社です。ページを開くと、詩ときれいなイラストが掲載されている点が良いと感じた一方で、二次元コードが多めだと感じました。ただ、そのコード毎に、資料室、動画、練習問題等と説明がされていて分かりやすいので、子どもが見る、見ないなどの判断がしやすいかと思いました。

また、情報量が多いと感じた理由の一つに、1年生の教科書下の最初のお話の「サラダでげんき」について、お話の最初に動画を見るようにと、作家の動画を見るための二次元コードが出ていました。

作家の方の思いが詰まった動画でしたので、お話を読む前に見てしまうと、お話を子どもたちが素直に感じる事が出来なくなってしまうこともあり、この部分は無いほうが良いのではないかと思いました。

また、「多層指導モデルMIM」について、調査研究報告書等を読んで知りましたが、こういったものは、支援学級等では必要な指導なのでしょうか。目黒区として取り組んでいく必要性があるものであれば、掲載されている点は良いと思いました。

F社もH社も、5・6年生の教科書は上下巻に分かれていない

ため重いのですが、高学年になったという自覚にも繋がるものかと思えますので、それはそれで良いのではないかと思います。また、学校調査報告書では、先生のご意見として、1冊にまとめられていると、児童の実態や適切な時期で単元を入れ替えやすいということも記載されていたので、その点も良いと思いました。

最後にG社ですが、二次元コードについては「学びリンク」となっており、少なくても良いと思いました。また、本の紹介が多く掲載されていたことは好印象でした。

○委員

私もF社は、子どもたちに対する丁寧さを感じました。

もう一つ私が素晴らしいと思ったのは、H社が、日本語の美しさを一生懸命出すことに重点を置いている印象を受けたということです。

私としては、3社とも全て素晴らしいものだと感じており、甲乙つけることが難しいですが、最終的には先生方の使いやすさが重要になってくるのではないかと思います。

○教育長

3社とも評価できるとのことですが、あえて言えば、F社とH社ということでしょうか。

○委員

その通りです。

○委員

私は、子どもたちが学ぶとき、先生方が教えるときに、どういう学習過程で学んでいくかということに注意して教科書を見ました。

結論からいうと、F社とH社の教科書は、よく似た学習過程となっており、その詳しい程度も、ある程度同じレベルになっていると思います。

G社は、学習過程としては、同じように目当てを持って、4段階、4つのステップで行うということは同じですが、教科書に記載されていることが大きく捉えられている印象を受けました。

本当に力のある教員の場合、教科書に詳しく書かれていると、子どもがそれに引きずられて自分の教え方が出来ないという考えもあるかもしれませんが、現在、特に小学校では、世代交代が大きく進み、若い教員が非常に多い時代となっているので、学習過程が詳細であるほうが良いのではないかと思います。

例えばF社ですが、最初に「見通しをもとう」というものがあり、更にそれが「問いをもとう」ということと「目標」が書かれています。学習過程は「とらえよう」「ふかめよう」「ひ

ろげよう」となっています。そして振り返りで、評価の3つの観点に沿って振り返る視点が記載されており、非常に丁寧なつくりとなっています。

H社も、最初に見通すことが出来るようになっており、その後で取組を3つに分けて取り組んだ後、更に振り返ることが出来ます。

結局、G社についても4ステップで、ステップは同じですが、若い先生方が使いやすいというようなことや、子どもたちが自分なりに読んで学習しやすいということで、その学習課程についてはF社が一番良いと思いました。次がH社です。

「話す」「聞く」「書く」といった学習課程についても、F社とH社が同程度のレベルで良いと思いました。

また、今回の学習指導要領の改定で、情報の取扱いに関する事項が初めて国語という教科の中に出てきましたが、それについては、各社工夫されていると思います。

また、例えばF社とG社であれば、季節に関する言葉が出ていたり、G社ではアイヌ神謡集とおもろそうしといった日本における先住民族であるアイヌの神謡集などが書かれており、それぞれに特色を感じました。

教科書を1冊にするか2冊にするかについては、5・6年生であれば1冊でも良いかと思います。

ただ、H社について、1年生から6年生まで「言葉の力」ということで教科書を編纂していることについて、私は違和感を覚えました。H社は、国語の学習を通して身に付ける資質能力全体を「言葉の力」とまとめているようですが、言葉の力ではなくて、日本語という言語を学ぶことによる力、つまり日本の学習指導要領に沿って言えば「国語の力」ということになりますが、言葉の力ではなく、言語を学ぶことによって身につく力だと考えています。

そういうことで、全て「言葉の力」ということで表記されていることが、私は非常に違和感を覚えました。

以上から、私は1番がF社、2番がH社と考えています。

○教育長

国語に限らない話ですが、私は検討に当たって、教科書は児童が日々手にする書物のため、記述内容と共に、使用されている字体の読みやすさや図表の見やすさ、写真の質や全体のレイアウトといった点についても着目しながら、全体として児童が能動

的に学べるようなつくりになっているかどうかにかぎを置いて、主に6年生の教科書を中心に見ました。

その結果、H社とF社を選びました。

H社については、読み、話し、聞き、書くことについて、1年間で身に付けていくロードマップを巻頭で示した後、学習の進め方、ノートをつくり方、そしてデジタルノートをつくり方といった形で、学習に臨む子どもたちの頭の中が整理されるつくりとなっています。各単元については、見開きの大きな写真や絵から入り、本体部分があり、単元の狙いを掘り下げたまとめがあり、そして関連する本の紹介まで、十分に整理された流れを感じられる教科書でした。また、写真や挿絵のレイアウトや色調も落ち着いており、教科書を読む上で妨げとならないつくりのため、良いと思いました。

F社については、H社と同様に、子どもたちに1年間の国語学習の全体像を見せるといった導入部が十分に用意されています。一方で、物理的な話ですが、その導入部のページが通常の部分のページよりも1センチ程幅が狭くなっており、本をめくろうとすると、そのページが飛んでしまうという点が気になりました。

特徴的な部分として、古典芸能や日本文化に関する記述がよく整理され、充実しています。それに関連して、季節の言葉の紹介というのも、今の子どもたちに日本語の美しさを伝えるという観点から、良いと思いました。

G社については、国語学習の全体像を示すという点が若干弱いと感じました。

○教育長

一通りご意見を頂きました。出ました意見を集約しまして、本日F社とH社を今後の採用候補として残したいと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、8月1日の協議では、F社とH社を採択候補として、1社に絞ることとします。

ここで、議事の都合により暫時休憩します。

(午前9時47分から午前9時50分まで 休憩)

○教育長

休憩前に引き続き協議を再開します。

次は、書写について協議します。書写についても3社ありますので、この中から本日は2社を挙げていただきたいと思います。

○委員

小学校に展示してある硬筆や毛筆の字を見ると、皆良い字を書いています。今回、教科書を見ていると、内容が良く、先生方の指導も良いからだろうということが実感できました。

私の中で1番は決まりましたが、2番、3番は決めかねているところです。1番目はF社です。教科書の中で、猫が全身を使って字の書き方を教えてくれて、一人でではなく一緒に学習してくれるような感じが非常に良いと思いました。また2年生で出る「スイミー」は国語とつながっていて良いと思いました。

他に良いと感じた部分は、4年生の「みんなで考えようSDGsブック」や5年生の「手書きの力」や「もっと知りたい手書き文字と活字」です。自分で書く文字と新聞等の文字は何故違うのか、どちらが正しいのかといった子どもの頃感じたことを思い出し、こういった形で表記されていると良いなと感じました。

6年生の「私の文字」という部分で、4人の方の直筆の名前が出ていますが、1年生から整った文字を学んできて、6年生の最後になって、結局は味のある文字でも良いという形で終わってしまうことについて、子ども達がどのように感じるのか非常に興味深いページでした。

先ほどお伝えしたとおり、2番と3番は決まっていますが、H社については、書き込めるところが多いことが良かったと思いました。また、3年生の巻末の二次元コードから、筆職人の方のインタビュー動画を閲覧することが出来ますが、職人の方の話が心に残りましたし、筆を丁寧に扱おうという気持ちになると感じられるもので良かったです。

G社は、4年生で「ごんぎつね」が出ていましたが、国語と繋がっていて良いと思いました。5年生では、先ほどのF社のように「活字について知ろう」の手書き文字との違いが出ていたのが良かったです。

○委員

文字を書く時、鉛筆をうまく持つことが出来ない児童が多くいる状況で、G社は、文字を書くための姿勢や鉛筆の持ち方から入っているため一番良いと考えました。

また、H社は毛筆の文化をきちんと紹介していますし、習字を学ぶ意味について考えさせられるような記載もあります。

以上から、H社とG社が良いと思いました。

F社も「ことばのコーナー」というものがあり、綺麗な言葉等を教材として扱っているため素晴らしいとは思いますが、この2社を推しました。

○委員

アルファベット順でお話しします。

F社は、3年生に毛筆を学ぶ入門として、毛筆スタートブックがついていることは良かったと思います。また、書写は実技科目のため、どのように書くのかを、児童が見たいときに見ることが出来ると良いと思います。そのため、二次元コードが充実している部分は良いと思いました。その他、G社とH社は横書きですが、F社は1年生で平仮名の書き方を学んだ後、最初に縦書きを書くこと、5年生の新聞作成でアイヌを扱っていること、情報の扱い方が明確であることも良い点だと感じました。

G社とH社の共通事項となりますが、最初の1年生の鉛筆の持ち方の部分で、左利きの児童が左手で書く場合の写真が掲載されています。実際、左手で書く児童は苦勞するケースもあるため、このような写真が掲載されていることは良いと思いました。

また、毛筆については、G社が3年生から5年生まで、基本の筆遣いについて一貫して編集されていると思いました。ページ数だけを捉えても、毛筆の扱いのページ数はG社が一番多く、3年生では19ページ、4年生では16ページ、5年生では19ページあります。勿論、動画を見て実技を学ぶということも良いと思いますが、基本の筆遣い、さらに4年生ではそれを復習して、点と筆遣いを高めていくというようなところが、G社は最も良いと思いました。手紙についても、4年生では2ページ、5年生では4ページ割かれ、詳細に記載されています。今はメールの時代と思われるかもしれませんが、手紙を書くという習慣は、人類にとって意味があることかと思えます。

H社については、3年生で「はね」の書き方を示しているところが無いことに驚きました。

F社は点と「はね」で2ページ使用、G社は折れと「はね」で3ページ使用、H社は「はね」がありません。最後の45ページのまとめに出てきますが、「はね」は教科書の中で扱って欲しかったと思います。

このことから、一番良いと感じたものはG社、2番目がF社です。

○委員

私はF社です。3社を見比べると、どの会社の教科書も十分素晴らしいものだと思いますが、他の2社と比較しても一番情報がすっきりしており、分かりやすい印象を受けたためです。

小学生は沢山の教科を学ぶため、その中で書写に充てられる時間は限られていると思いますので、書写の教科書の中に、様々な周辺の情報まで織り込む必要は無いと思います。そういった意味では、きちんと文字を書くことを学ぶことに統一的に専念しているF社の教科書が優れていると思いました。

○教育長

書写については、国語の教科書の発行者と同一にする必要は必ずしもないため、それは意識せずに目を通しましたが、結果として、国語と同様のH社とF社になりました。

H社は、巻頭で書写の学び方と学習の準備について、それぞれ見開きで分かりやすく示されており、書写で学んだことは普段の生活や他の教科の学習に広げたり、生かせるものであることを示している点が良いと思いました。また、良い字を書くためのポイントが、一貫して技術面から示されているのも分かりやすいかと思いました。更に、日本の文字の歴史や精神性についても触れており、今の子ども達に、文字というものに対する興味を引き出す構成も良く出来ていると判断しました。

F社の特徴的なところとしては、6年生の教科書で言えば、6年間で学んだことの振り返りを具体例を示しながら行っているところや、ユニバーサルデザインの筆記具等、現代的な課題にも触れていること、先ほど他の委員も触れていましたが、文字は個性の表れで、自分の文字を好きになろうというメッセージでまとめられています。このあたりは救われる子どももいるのではないかと感じたところです。

私はG社の表紙や中身が非常に良いと思っていますが、毛筆の基本とその他の応用部分が若干混在して記載されている印象を受けました。

一通り意見をあげていただきましたが、絞り込みが難しくなりました。

まず、F社は4名が推しているので、残したいと思います。

また、G社かH社かというところですが、先ほどの発言に付け加えてご意見を頂きたいと思います。

- 委員 甲乙つけることは難しいですが、私が3社を比較した時のメモを見ると、H社を2番目に選んでいました。H社とG社に差があるとは思っていませんが、参考までにお伝えします。
- 委員 先ほどもお伝えしましたが、H社は「はね」を扱っていないので致命的ではないかと思っています。
- 教育長 議事の都合により暫時休憩いたします。

(午前10時7分から午前10時33分まで休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き議事を再開します。
書写についてですが、F社を推す委員が一番多かったことは確認します。
G社とH社は、様々な意見があり、絞り込みが難しかったため、8月1日に3社から1社に絞り込んでいく形とします。
議事の都合により暫時休憩いたします。

(午前10時36分から午前10時38分まで休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。
次は生活について協議します。
こちらは6社ありますので、この中から本日は2社から3社に絞りたいと思います。
- 委員 身の回りにある普通の自然界の中で見つけたものに対してわくわくするかどうかを見るには、絵や写真が大事だと思いました。例えば植物の成長の仕方であるとか、この種をどうやって植えたらいいのか、できた野菜の料理であるとか、絵で見て分かりやすいものが良いと思いました。
このような視点を中心に、総合的に見ていった結果、J社、H社、G社を選びました。
- 委員 私は、K社が一番良いと思いました。
1年生のスタートブックについては、どの社も同じような形で記載されていますが、勉強したくなる気持ちにさせるという点では、K社は「やってみよう」というように整理されているところが良いと思います。
また、「観察図鑑」では、カードの書き方が例示されており、良いと思いました。

更に、イラストで子どもたちが話し合う形の共同学習が描かれているのも良かったですし、夏の遊び図鑑や生き物図鑑、秋のおもちゃ図鑑、冬の遊び図鑑や野菜図鑑などがあるのも良いと思いました。

特色ある单元としては、「あしたへジャンプ」ということで、成長した自分を振り返るなどというものも良かったと思います。

H社ですが、サイコロのマークで、気づく、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自分自身を持つなどと目当てが明確になっている部分は良いと思いました。

一方、上巻で「かぞくにこにこ大きくせん」が10ページにわたって書かれています。ここには、お父さんとおばあちゃんしか出てきません。母子家庭もありますし、その点は違和感を感じました。

G社は紙質が良く、ページ数もありますが、重さが気になりました。

はかりで重さを量ってみたところ、6社の平均が348グラムに対し、G社は上巻で395グラムありました。1年生が持つものですが、教科書を学校に置いておくのか、自宅に持って帰るのか分かりませんが、重たい点は気になりました。

以上から、私はK社を推薦したいと思います。

○委員

6社のうちから3社に順位をつけるとI社とG社とF社の順番になります。

生活は1、2年生の低学年のお子さんが使用するもので、I社はキャラクターと、大きさが小さめで持ち運びがしやすいということが良いと思いました。

特に、入学直後の1年生にとって、学校の生活がどういったものかが冒頭に要領良くまとめられていることは良いと思いました。

G社は、他の委員からもお話がありましたが、紙質が良く、小さいお子さんにとって良いのではないかと思います。

また、上巻で、春・夏・秋・冬の生き物の図鑑が折り込みになっていたりと、下巻では生活時点が折り込みになっており、見やすく良いのではないかと思います。

3番目のF社については、大きさがコンパクトなのが使いやすいと感じて選びました。

○委員

私は、G社、K社、H社が良いと思いました。

G社ですが、生活って何だろうと思う保護者も多くいると思いますので、「保護者の皆様へ」というメッセージがあるのは良いと思いました。

学校調査報告書でもあったと思いますが、表紙は寂しいという印象を受けたものの、全体的には好印象で、子ども達の写真も新しく感じましたし、それのおかげで生き生きして見えますし、全体的におしゃれなつくりだなと感じました。

上巻の春の仲間たち、夏、秋、冬と、つやのある厚紙に綺麗な写真で非常に良かったです。また、広がる生活辞典もついていて良かったです。また、学校調査報告書から、先生方の評価が高いのではないかと思います。

次にK社です。「ほんとうのおおきさいきものずかん」が良かったです。また、写真に写る子どもたち一人ひとりの表情は、どの教科書よりも一番良かった印象を受けましたし、優しい雰囲気イラストも良く、安心できるものでした。

次にH社です。上巻下巻とも、それぞれ掲載されている若い先生らしき方が明るい印象だった点が良かったです。デジタル図鑑も充実していると感じました。

次から順番は特にありませんが、F社に関して良かった点は「保護者の皆様へ」が多めに感じられたことです。また、教科書自体、サイズが小さいのも良いと思いました。表紙の写真と色味が、生活というより保健体育という印象を受けました。

次にI社です。植物のイラストは良かったのですが、写真が少し古いような印象を受けました。

J社は、先ほど他の委員がおっしゃった印象とは逆で、写真の色味が暗く感じました。特に、食べ物の色がくすんでいるように見えました。食べ物は、美味しそうに見えないと全然興味が湧かないので、その部分がマイナスになってしまいました。

○教育長

まず全体の話として、生活科の教科書は非常に版の大きなものが多く、ここまで大きい必要はあるのかという印象は受けつつ、K社とF社にしました。

まずK社ですが、ベースになるところとして、どの社も共通していますが、写真にしる、イラストにしる、登場する子ども達の行動内容や身に付けているもの、それから肌の色や障害の有無など、多様性を意識したつくりになっており、低学年児童が見るものとして、大切な視点だと思いました。

その中でもK社が一番イラストのトーンが押しつけがましくない印象を持ったところです。それから、学習用情報端末の活用にも適時触れており、それで植物を実物大で掲載するというページもあって、この点、版の大きさにも合点がいったところです。

続いてF社ですが、一番版は小さいですが、それでも国語の教科書等よりは若干大きいのですが、適当な大きさかなと思いました。

勿論、内容が大事な訳ですが、F社は初めに、小学校入学前にも子どもたちがさまざまな体験を積んできたということを確認することから入っていくところが良いと思いました。また、巻末に生活科での活動をより充実したものとするためのヒントを集めて、非常にコンパクトに整理しているところも、使いやすい教科書になっていると思いました。

最後に意見ですが、先ほど委員も触れておりましたが、H社について、全体的に良い教科書と思いましたが、10ページにわたって家族の様子や関わりを問いかけています。家庭の状況がこれだけ多様化している中で、このページを扱うに当たり、子どもたちに疎外感を抱かせることなく、この教科書でどのように授業を進めていくのか非常に不安になりました。

今回も委員の皆様の意見が割れましたが、推した委員の人数からG社とK社の2社に絞り込む形とします。

議事の都合により暫時休憩します。

(午前10時50分から午前10時53分まで 休憩)

○教育長 休憩前に引き続き、協議を再開いたします。

次は音楽です。発行者は2社ですので、本日は委員の皆さんのご意見、ご感想を伺うのみとします。8月1日の協議で絞り込みをしたいと思います。

○委員 F社の紙面構成は、題材が初めのページに大きく書いてあり、その下に題材のねらいが記載されていて、子どもたちにとって分かりやすく、先生にとっても教えやすいと思いました。

また、学習目標が明確に示されており、子どもたちにとっても、何を勉強するのか、何が出来るようになれば良いのかということが分かりやすいと思いました。

更に、評価の視点として、知識、技能、思考力、表現力、それ

に対応する活動が明確に示されており、音楽の活動を教えやすいと感じました。

それから、これは個人的な感想ですが、音楽づくりの題材が面白いと思いました。

それから、鑑賞のページについても興味深くつくられており、良かったと思いました。

それから、リコーダーについて、タンギングの仕方が丁寧に書かれていて分かりやすいと思いました。

G社につきましては、学習目標については書かれていることは同じですが、F社と比較すると明確ではないと思いました。また、音のスケッチという題材は面白かったのですが、分かりづらい部分もある印象を受けましたし、鑑賞などについても、F社と比較して物足りなさを感じました。

なお、リコーダーについては、タンギングの仕方がF社と比較して分かりづらいと思いました。

○委員

私も2社について感想を述べさせていただきます。

まず、表紙のイラストですが、両社ともイラストですが、F社はアニメのような印象、G社は芸術的な印象を受けました。

音楽なので、表紙の印象も重要だと思いました。

内容についてですが、G社は3年生のリコーダーのページで、指使いを詳細に解説しており、分かりやすい印象を受けました。

F社は、4年生の教科書で、楽器一つ一つが大きな写真で掲載されており、普段なじみのない楽器についても、児童が親しみを覚えるのではないかなと思いました。

また、様々な楽器のプロの演奏家の方が多数登場し、活躍している姿の写真などもあったので、そういったなじみのない楽器についても、子ども達が演奏してみたいとか、プロになると華やかな演奏会があるということにより、音楽に対する憧れを持つきっかけになると思いました。

G社は、表紙のイラストに好印象を持ったということの他に、1年生は理論よりもたくさん歌を歌って音楽になじむという趣旨で、1年生の教科書で歌の紹介数が多いところに好印象を持ちました。

○委員

私は、音楽の教科書を見ていて一番良いと思った点は、F社の6年生の巻頭に掲載されている指揮者の方の文章です。音楽と出会ってから指揮者になるまでの過程が記載されており、共感

できる子どもたちも多いと思いました。

また、二次元コードが、すぐにメロディーを聴けるといったようにシンプルなことが良いと思いました。

さらに、君が代が全学年の最後に掲載されており、写真や文章も添えられているのが良かったと思います。

イラストについて、私はF社のイラストが良いと思っていましたが、学校調査報告書でマイナス意見がいくつかあった点が気になりました。

次に、G社ですが、二次元コードを開くと、想像していたものと異なる動画が出てくることがある点が気になりました。開いてみないと分からない楽しさもあると思いますが、そこがもう少し整理されていれば良いと思いました。

○委員

音楽は、子どもたちが楽しむところから入るものだと思います。この2社の教科書の大きな違いは、F社は学問的に、G社は芸術的に書かれている点です。

教える側の教員としては、学問的にやったほうが良いのかもしれませんが、子どもたちにとっては、音楽は芸術の一つであるということを理解していく上で、私はG社が良いと思いました。

○教育長

F社は、先ほど委員のご指摘があったように、掲載されている全ての曲目に二次元コードが付されていて、楽譜を見ながら容易にメロディー、旋律を聴くことが出来るという点は良かったと思います。また、巻末に振り返りのページと鑑賞資料がコンパクトにまとめられており、学んだことのまとめがしやすくなっています。

G社は、この2点が弱いという印象を受けました。一方、ピンポイントな部分にはなりますが、君が代についての記述は丁寧で分かりやすいと思いましたし、6年生の教科書で掲載されているオーケストラの楽譜を見ると、作曲家がいかに凄い仕事をしているのかを感じることができ、非常に良い取り上げ方だと思いました。

今回、各委員から頂いたご意見や感想については、1社に絞り返むときの参考にさせて頂きたいと思います。

議事の都合により暫時休憩します。

(午前11時4分から午前11時7分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き、議事を再開します。
次は、図画工作です。こちらも発行者は2社ですので、本日は
絞り込みは行わず、ご意見やご感想を伺うのみとします。8月1
日の協議で1社に絞りたいと思います。
- 委員 図画工作は、理屈ではなく芸術なので、どちらが児童にとって
美的センスを磨くことが出来るのかという視点が大切だと思
います。G社は、各学年の表紙のセンスが良いと思いました。
内容については、G社の1, 2年生の下巻にあった「小さな美
術館」というコーナーが素敵で、児童が自分で作れそうとい
った印象を持って取り組むことが出来るのではないかと思
いました。
3, 4年生の上巻にある「ひらめきショートチャレンジ」と
いうコーナーですが、児童に、作品を作ろうというアイデアを
与えることに繋がるものと思いました。
また、5, 6年生の上巻では「彫り進み木版画」があり、子
どもから見ても非常に興味深いと思いますし、大人目から見
ても芸術的に学ぶところが多いのではないかと思
いました。
5, 6年生の下巻の「つながる造形」では、人々の幸せや平和
を願うという、芸術の意義深いことが含まれており、良い
と思
いました。
F社ですが、こちらも素敵な作品が掲載されていて、教科書
として申し分無いと思
いました。また、ミニアートカードが付録
として付いていましたが、様々な有名な芸術作品がカードにな
っていて、子どもたちがそういったものに身近に触れられる
という
意味で、良いアイデアではないかと思
いました。
- 委員 マスク姿の写真などが多いと感じたF社の教科書を見て
いる
と、コロナ禍で教科書を作成した方々の様々な工夫を感じ取
ることが
出来ました。表紙は、F社とG社共に良い印象を受けた
ので、
どちらも良いと思
いました。
F社の教科書には、懐かしい、知っている作品が掲載されて
いた
ので、安心して見ることが
出来ました。
G社の教科書は、巻頭ページに、1年生は幼稚園の先生、2
年
生は切り絵アーティスト、舞台美術家、竹工芸家、アニメ
シ
ョン監督、廃材アーティストなどの芸術家の動画を見ることが
で
き、好きなことを仕事にしている人がいるといったことに
気
づくことができる内容のもので、非常に良かったです。マ
ス
ク姿の写真はありませんでしたが、古い写真を新しく見せる
形
で使用

されていると思いました。

一方、一部で色味を抑えている部分を感じたため、生き生きした印象が減ってしまっているような印象を受けた点が気になりました。

○委員

どちらも素晴らしいので、選択するのは難しいと思いました。選択の基準をどうするか考えた時、写真の大きさや作品の単純さなどが基準になるかと思いましたが、甲乙つけ難く、どちらが優れているか言えないと思いました。

○委員

両社ともに学習の目当てが十分に記載されていますし、準備する道具や片付け、振り返り、他教科との連携といったことが共通して、しっかり作りこまれていると思いました。

私は、個々の題材の児童作品の写真や、鑑賞するページのデザイン、色、形がG社と比較すると豊かであり、作品そのものの質も高いという印象を受けたため、F社のほうが良いと思いました。

また、二次元コードの内容もいくつか確認しましたが、F社は自身での作品作りに活用できるアプリがいくつかあり、G社と比較するとICTの活用も促進されるのではないかと思います。

○教育長

両社共通しての感想ですが、どちらも子どもたちの創造性を引き出して、それを伸ばすことに非常に留意されており、これに教員の指導が相まって「めぐろの子どもたち展」での生き生きとした作品が生まれているということを感じました。

教科書の内容ですが、F社のほうが巻頭見開きで、教科書の使い方や学習の進め方等がしっかり示されている点に、G社との違いがあるのではないかと思います。

コマ撮りアニメーションの作成といった今日的な活動の紹介から、美術館での作品鑑賞の勧めまで、項目としては両社ともに揃っているので、見せ方の違いということになるかと思います。

図画工作についての意見、感想についても、1社に絞り込みの際に参考にさせていただきたいと思います。

これで1回目の教科書採択の協議を終わります。

ここで、議事の都合により暫時休憩とします。

(午前11時20分から午前11時22分まで 休憩)

- 教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次に、日程第2を議題とします。
議題に入りますが、日程第2は個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書きの規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。
それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。非公開とすることに賛成の委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

- 教育長 それでは、日程第2は、非公開により審議することとします。

(午前11時31分から午前11時35分まで 非公開)

- 教育長 ここからは、会議を公開します。
それでは、日程第3を議題とします。

(日程第3 議案第29号 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について)

- 教育指導課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第29号は原案どおり可決します。
次に、日程第4を議題とします。

(日程第4 ランランひろばの拡充による臨時的な対応について(報告事項))

- 生涯学習課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。

- 委員 学童保育クラブと、拡充されたランランひろばの違いについて教えてください。
- 学童保育クラブは、見守りをする方が何人かに一人といった形でついているかと思いますが、ランランひろばの場合には、子どもの安全を見守ってくれる方はどのくらいいるのでしょうか。
- 生涯学習課長 学童保育クラブとランランひろばの拡充版の違いということですが、今回の拡充については、あくまでも学童保育待機者への対応を図るという趣旨ですので、基本的な時間帯等の違いはありません。
- 一方、学童保育クラブは、月額料金として8,000円を頂き、補食としておやつを提供することを行っていますが、ランランひろばではそのような対応は行わない予定です。
- また、ランランひろばでの見守りについては、通常は5時までとなっていますが、終了後6時15分まで拡充します。
- こちらについては、学童保育クラブと一体的に見守りを行うといった小学校もありますが、学童保育クラブの機能を一定果たしていくということで対応していくものと考えています。
- 委員 ランランひろばにも学童保育と同じように安全を見守ってくれる方が配置されていたりとか、例えば夏休みなどの朝から晩までのような場合、終日利用するようになると思うんですが、その場合に食事を一緒にしてくれる人がいてくれるものなのでしょうか。
- 生涯学習課長 ランランひろばについても、必ず活動場所に1人配置し、見守りを行っています。
- 夏季休暇期間中の食事等については、ご相談いただきましてお持ちいただくというようなことも想定して、そのような形で対応していく予定です。
- 委員 別紙2記載の「アプリケーションにより出退確認」の部分ですが、このアプリケーションの機能等について教えてください。また、資料記載の「5時以降帰宅する場合には保護者へお迎えを要請する」の部分ですが、厳格に要請されるものなのでしょうか。
- 生涯学習課長 アプリケーションについては、学童保育クラブ等でも活用している「安心でんしょばと」というシステムを活用していく予定です。
- 送迎ですが、5時以降帰宅する場合は保護者へお迎え要請を

するとしていますが、難しい場合もあるかと思いますので、保護者の状況を確認しながら、柔軟に対応していきたいと考えています。

- 関根教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第5を議題とします。

(日程第5 学校施設の使用見直しの方向性について(案)(報告事項))

- 生涯学習課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第6を議題とします。

(日程第6 目黒区古民家の臨時休館について(報告事項))

- 生涯学習課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第7を議題とします。

(日程第7 令和5年度学級閉鎖等の状況(7月10日現在)(報告事項))

- 学校運営課長 (資料により説明)
○委員 学級閉鎖期間についてですが、国の基準では5日間だと認識しています。表の最後の小学校は10日から11日までの期間としていますが、これは学校長による判断でしょうか。
○学校運営課長 新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の期間について、国のガイドラインに基づいて5日間程度としています。当該小学校については、学校長が学校医と相談の上、感染の発生状況等を踏まえて、土日を含めて4日間の学級閉鎖としたものとなります。
○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
○教育長 その他なにかありますか。

特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時49分閉会)